

事業報告附属明細書（事業別報告）

法人運営事業

法人運営事業（66,600,730円）

（1）主な収支状況

市補助金（運営補助金）	54,837,342円（収）
会費（団体会員46件、個人会員1,240件、賛助会員25件）	535,000円（収）
ホームヘルプサービス事業から繰入	1,400,000円（収）
地域福祉活動支援事業から繰入	8,843,069円（収）
善意銀行運営事業から繰入	150,000円（収）
人権教育推進の指定にかかる補助金	50,000円（収）
人件費	55,577,524円（支）
人件費負担金	6,405,868円（支）
事務所使用料	562,436円（支）
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は3,749,577円）	
固定資産取得費（パソコン10台）	2,276,978円（支）
その他法人運営にかかる事務費等	1,776,148円（支）
法人運営事業積立資産への積立	1,776円（支）

（2）職員構成（令和2年3月31日現在）

▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長	1
センター長	1
事務局次長	3
総務係	2
地域福祉係	4
生活福祉係	2
在宅福祉係（ヘルパー、生活支援員を含む）	56
地域包括第1係	9
地域包括第2係	10
合計	89

▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	3
一般職員	17
嘱託職員	16
臨時職員	2
非常勤職員	51
合計	89

(3) 固定資産物品取得状況

固定資産物品	台数
軽自動車	1
原動機付自転車	1
シュレッダー	1
パソコン	11
印刷機	1
ラベルプリンタ	1
合計	16

(4) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量
車いす	281
高齢者疑似体験グッズ	4
盲人用安全杖	22
楽器セット	5
プロジェクター一式	24
合計	336

(5) 苦情受付状況

苦情受付件数 1件（福祉サービスの内容に関わる事項1件）

苦情については、苦情受付担当者及び苦情解決責任者での対応で解決し、第三者委員への相談はありませんでした。

また、利用者からの苦情に対し、適切に対応することにより利用者の権利を擁護するとともに、福祉サービスの質の向上に努めました。

(6) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
橿原市社会福祉協議会地域包括支援センター事業評価	5月16日	橿原市地域包括支援センター及びかしはら街の介護相談室事業評価会議
第一号訪問事業に対する実地指導	8月13日	橿原市福祉部地域包括支援課

(7) 研修生等受入状況

▽研修生受入

受入元	人数	目的（研修名）
武庫川女子大学	1	社会福祉士相談援助実習

▽視察受入

受入元	人数	目的
訪日視察団（ベトナム・ホーチミン市）	12	介護を通じて日本とベトナムの友好を目指す「NPO法人アジア高齢者・障害者介護福祉協会」の取組

(8) 後援・協賛等の状況

▽後援

催名	主催	日程
フラワーガーデン5周年記念フォーラム	一般財団法人ワンネスグループ	8月24日
まほろばフェスタ in かぐやま	「いきがい・あそびの広場」研究会	10月20日
傾聴ボランティア「えがお」講演会	傾聴ボランティアえがお	11月29日
第2回アングルン音楽クラブコンサート	アングルン音楽クラブ con brio	12月7日
第13回赤い羽根歳末たすけあい新作カレンダーチャリティーバザー	社会福祉法人奈良県共同募金会	12月10日～13日、14日～15日、20日～21日、24日～26日、1月7日～11日
第42回奈良県保育研究大会	奈良県保育協議会	12月21日
第3回かしはら市ボランティアフェスティバル～広げよう！ボランティアの和・輪・笑～	橿原市ボランティア連絡協議会	2月2日
令和元年度奈良県児童福祉施設連盟・音楽交流会「第22回“アート・コミュニケーション”2020」	奈良県児童福祉施設連盟	2月8日
映画「みんなの学校」上映会	「みんなの学校」in 橿原2020実行委員会	2月16日

(9) 災害復興支援活動

▽義援金活動状況

内容	金額
令和元年台風第19号災害義援金の受付(10月16日～11月30日)	1,720円

(10) その他

▽感謝状の贈呈(6月20日)

奈良中央信用金庫 理事長 たかだともひこ 高田知彦 氏

▽健康診断

ストレスチェック(8月21日～30日) 33名受検

VDT健康診断(11月14日、28日) 6名受診

定期健康診断(1月15日) 69名受診

▽受動喫煙防止対策の実施(保健福祉センター北館・南館の敷地内での喫煙を禁止)(7月1日～)

▽奈良県いっせいで地震行動訓練(ナラ・シェイクアウト)に参加(7月9日)

▽消防訓練(避難訓練)の実施(2月20日)

▽新型コロナウイルス感染症対策の観点から次の事業を中止・休止

ふれあい電話訪問サービス(3月3日～)

ふれあいサロン（2月28日～）
 家族介護者のつどい日帰りバスツアー（3月12日）
 リフレッシュサロン（3月13日）
 ヘルパー定例会（3月26日）
 在宅医療・介護連携地域ケア会議（2月27日）
 ブランチ連絡会（3月17日）
 オレンジカフェ（3月18日）

役員会等事業（236,931円）

（1）主な収支状況

地域福祉活動支援事業から繰入 236,931円〈収〉
 理事会・評議員会、研修会等の開催にかかる事務費 236,931円〈支〉

（2）理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区 分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	7	20	96 （監事含む）
社会福祉協議会評議員会（決議の省略を含む）	3	7	38 （理事・監事含む）
共同募金会樫原支会運営委員会（決議の省略を含む）	3	3	43 （監事含む）

（3）委員会等開催状況

区 分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	1	3
評議員選任・解任委員会	1	5
感謝状贈呈審査委員会	1	5
職員衛生委員会	2	18
高齢者虐待個別ケース対応調整会議	13	68
共同募金会樫原支会監査	1	3

※監査及び評議員選任・解任委員会については、出席理事数を含む。

（4）役員等研修状況

研修名	開催日	内容	参加者数
役員等研修会	9月27日	講演 「日本歴史ばなし」紙芝居 ～国生みから神武東遷へ～ 講師 小槻郵便局局長 <small>おかもとただひろ</small> 岡本匡央 氏	26

広報・啓発事業

広報発行事業（160,230円）

▽社協だより「いきいき」の発行

第53号（令和元年7月）、第54号（令和元年10月）、第55号（令和2年1月）、第56号（令和2年4月）を発行（「広報かしはら」に折込）する。

▽ホームページによる情報発信

社協ホームページ [http : //ww9. sakura. ne. jp/](http://ww9.sakura.ne.jp/)

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	160,230円〈収〉
社協だより「いきいき」発行費	160,230円〈支〉
（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は1,281,840円）	

啓発事業（1,472,789円）

▽ふれあい・いきいき祭～橿原市健康と社会福祉の祭典～

健康と社会福祉に関する諸情報を提供することにより、市民に対する健康づくり及び社会福祉制度の啓発を行い、乳幼児から高齢者までの生涯にわたる健康と地域福祉の推進を目的に市と共同で開催する。

開催日 10月6日

場所 かしはら万葉ホール及びその周辺

参加者 延8,610名

内容

- ・式典 感謝状贈呈者 64名、4団体
大会宣言、共同募金に対する感謝のことば
- ・講演会 TVキャスター ^{くさのひとし} 草野仁氏
- ・その他、啓発ブース「みんなの福祉コーナー」「赤い羽根共同募金コーナー」「地域福祉推進コーナー」、クイズラリー、各種体験コーナー、バザー、落語公演、着ぐるみによる啓発活動等の実施

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	1,472,789円〈収〉
ふれあい・いきいき祭開催費用	1,472,789円〈支〉

地域福祉活動支援事業

地域福祉活動支援事業（15,574,546円）

(1) 主な収支状況

市補助金（事業補助金）	1,687,995円〈収〉
共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	1,166,382円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい募金配分金）から繰入	1,947,250円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	1,674,266円〈収〉
地域福祉基金運営事業から繰入	65,203円〈収〉
地域活動積立資産の受取利息	1,615円〈収〉
地域活動積立資産の取崩	9,100,000円〈収〉
小学校区地域福祉推進委員会への助成金	5,879,343円〈支〉
小学校区地域福祉推進委員会への助成金加算（子どもと地域との交流）	167,995円〈支〉
広報・啓発費用	80,115円〈支〉

その他地域福祉推進のための事務費 347,093円〈支〉

取崩した積立資産を各事業に繰出 9,100,000円〈支〉

(2) 各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区において地域福祉活動の中心となり、その充実が檀原市における地域福祉の発展につながることから、同委員会の運営及び活動に対して助成し、支援する。

▽子どもと地域との交流事業

子どもの参加を促し、“食”を通じた地域の交流を促進するとともに、その保護者の参加から次世代の担い手の育成を図る。この取組に対して助成し、支援する。

実施校区数 7校区

▽“緩やかな見守り”の推進

地域福祉推進委員会と自治会、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を進めながら、日々の生活の中で異変に気付いた場合に、関係団体や専門機関に相談・連絡するといった“緩やかな見守り”を推進する。

(3) 市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内16小学校区地域福祉推進委員会等で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携により、校区間の情報の共有化を図り、地域福祉ネットワークを構築する。

檀原市地域福祉推進連絡協議会研修会実施状況

開催日	内容	参加者数
2月6日	実践報告 子どもと地域との交流について 報告者 小学校区地域福祉推進委員会 (鴨公・耳成南・香久山・耳成・真菅・白檀南・白檀北) 講義 共につながり・支え合う地域づくりについて ～第4期地域福祉推進計画の目標達成に向けた手法・取組～ 講師 天理大学人間学部人間関係学科 教授 渡辺一城氏	55

(4) コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉推進委員会が実施する活動や事業等へ利用者を送迎するため、社協の車両をコミュニティ自動車として貸与する。

利用状況

車種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン(10人乗り)	4	89	1,753

見守り活動支援事業

見守り活動支援事業(1,729,142円)

▽見守り活動支援事業

住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、一人暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を目的とした地域の見守り活動を支援する。

実施団体数 8団体

実施対象者 延20,825名

▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者世帯等に対し、ふれあい(話し相手や見守り等)のため、ボランティアによる電話訪問を行う。

実施日 毎週火曜日（午前10時～午後3時）、金曜日（午前10時～正午）

協力ボランティア 延444名 電話訪問件数 延2,168件

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	9,650円〈収〉
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい募金配分金）から繰入	1,719,492円〈収〉
見守り活動にかかる事業費	1,719,492円〈支〉
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	9,650円〈支〉

ふれあいサロン事業

ふれあいサロン事業（6,210,924円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の方を対象に、地区公民館等において体操や手芸などの活動を行い、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防する。

(1) 主な収支状況

市受託金	6,210,924円〈収〉
ふれあいサロン活動のための助成金	5,797,447円〈支〉
広報・啓発費用	160,230円〈支〉
その他事務費	253,247円〈支〉

(2) ふれあいサロン実施状況（於：各地区公民館等）

地区名	名称	回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	39	1,125	毎週土曜日 午前9時～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	42	1,465	毎週土曜日 午前9時30分～午前11時30分
新 沢	新沢地区ふれあいサロン	43	1,000	毎週火曜日 午後1時～午後4時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	40	809	毎週土曜日 午後1時～午後4時
晩 成	晩成ふれあいサロン	43	2,282	毎週木曜日（第5木曜日を除く。） 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	22	912	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	21	1,101	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 櫃	サロンしらかし広場	40	1,988	毎週金曜日（第5金曜日を除く。） 午後1時～午後3時
耳 成	ふれあいサロン耳成	14	473	月1回開催 開催ごとに異なります。
耳成南	耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	22	795	第2・第4日曜日 午後1時30分～午後3時30分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	22	757	第2・第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	10	331	第4金曜日 午前10時～正午
合 計		358	13,038	

(3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月1日	各サロンの運営や状況等について	54
2月10日	各サロンの運営や状況等について情報交換	40

家族介護者交流事業

家族介護者交流リフレッシュ事業（20,000円）

家族介護者交流受託事業（151,052円）

▽要介護高齢者等を在宅で介護している家族の心身の負担を少しでも軽減するため、介護者同士の交流や相談等を実施する。

(1) 主な収支状況

市受託金	101,052円（収）
参加者負担金	50,000円（収）
地域福祉活動支援事業から繰入	20,000円（収）
リフレッシュサロン活動のための助成金	20,000円（支）
日帰りバスツアー等の事業費	151,052円（支）

(2) 家族介護者のつどい日帰りバスツアー実施状況

開催日	内 容	参加者数
10月9日	内容 日帰りバスツアー 場所 びわ湖バレイ、大野神社等	25

(3) リフレッシュサロン

日時 毎月第2金曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所 保健福祉センター南館3階 講座室2

リフレッシュサロン実施状況

名 称	回数	延参加者数
リフレッシュサロン	11	62

ボランティア推進事業

ボランティア推進事業（3,620,615円）

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域福祉配分金）から繰入	1,715,000円（収）
ボランティア活動保険加入	1,413,900円（収）
ボランティア活動保険掛金	1,413,900円（支）
福祉教育推進校への助成金	1,106,000円（支）
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	358,600円（支）
広報・啓発費用	80,115円（支）
その他事務費・事業費	662,000円（支）

(2) ボランティア講座実施状況

講座名	開催日	内 容	参加者数
傾聴 ボランティア 養成講座	7月12日	講義 傾聴ボランティア活動とは・・・ 講師 吹田傾聴「ほほえみ」 <small>ほせがわみつよ</small> 代表 長谷川美津代 氏	13

(3) 災害ボランティアセンターの取組状況

▽東竹田町の施設をめぐるイベント「ぐるっと東竹田探検隊」(檀原市主催)への参加

開催日	内 容
7月27日	内容 災害ボランティアセンターに関するパネル展示 防災グッズ(新聞スリッパ、ツナ缶ランプ等)の作成等 場所 かしはら安心パーク

▽災害ボランティアセンター設置・運営訓練

開催日	内 容	参加者数
1月26日	内容 堤防の決壊・氾濫による水害を想定した訓練 場所 檀原市保健福祉センター南館及びその周辺	22

(4) 福祉教育推進校 (小学校16校、中学校6校 計22校)

▽地域に根ざしたボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う。

小学校・・・耳成、耳成南、耳成西、晩成、鴨公、香久山、畝傍南、畝傍東、畝傍北、白檀北、
白檀南、今井、真菅、真菅北、金橋、新沢

中学校・・・畝傍、檀原、光陽、白檀、大成、八木

(5) 保険業務取扱状況

加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額(円)
ボランティア活動保険	256	3,010	1,413,900
ボランティア行事用保険	125	5,392	145,936
福祉サービス総合補償	4	延1,930	59,431
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	39	374,868
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	11	延13,798	372,546
合 計	397		2,366,681

補償請求状況

保険種別	件数	補償内容
ボランティア活動保険	5	けがの補償5件
ボランティア行事用保険	2	けがの補償2件
福祉サービス総合補償	—	
送迎サービス補償	—	
社協の保険	—	
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	1	けがの補償1件
合 計	8	

心配ごと相談事業

心配ごと相談事業（940,056円）

▽日常生活で生じる心配ごとや悩みについての相談に応じ、適切な助言・援助を行うことで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。

日時 毎週火曜日 午前9時～正午（受付：午前11時30分まで）
 毎週木曜日 午後1時～午後4時（受付：午後3時30分まで）
 場所 保健福祉センター南館3階 相談室1

（1）主な収支状況

市補助金（事業補助金） 708,000円（収）
 善意銀行運営事業から繰入 232,056円（収）
 相談員報酬等 940,056円（支）

（2）心配ごと相談状況（98回開催・相談者95名）

区分	直ちに解決したもの	再来を要するもの	民生児童委員を紹介した	他機関を紹介した	その他	取扱延件数
1 生計	1				10	11
2 年金						0
3 職業						0
4 生業						0
5 住宅	1				11	12
6 家族					23	23
7 結婚						0
8 離婚					8	8
9 健康					4	4
10 衛生						0
11 医療					2	2
12 精神衛生					7	7
13 人権					1	1
14 法律	2				15	17
15 財産				1	21	22
16 事故						0
17 児童福祉・母子保健						0
18 教育						0
19 青少年						0
20 心身障がい者(児)福祉						0
21 父子福祉					1	1
22 母子福祉						0
23 老人福祉					3	3
24 苦情						0
25 その他	1				17	18
合計	5	0	0	1	123	129

(3) 心配ごと相談事業研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
6月4日	講義 誰もが持っている権利について～権利擁護の視点から～ 講師 法テラス奈良法律事務所 スタッフ弁護士 <small>みずまる きみ こ</small> 水丸貴美子 氏	21

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業（11,075,257円）

▽歳末施設訪問

歳末たすけあい募金の一部を見舞金として、歳末に市内高齢者施設及び障がい者施設を訪問する。

歳末見舞金

施設名	配分額（円）
榎原園	80,000
かなはし苑	80,000
桃寿園	80,000
香久山インパレス	80,000
榎原の郷	80,000
ぼれぼれケアセンター白檀	40,000
バンデ（絆）	80,000
花檀	40,000
リンク榎原	40,000
ケアステージみみなし	40,000
万葉テラス	40,000
大和三山	40,000
鷺栖の里	40,000
あさひの	40,000
たけのこ園	40,000
榎原市福祉作業所	30,000
ステップあすか	30,000
生活支援センターはるかぜ	30,000
合 計	930,000

※善意銀行への指定寄付を一部（105,036円）活用

(1) 主な収支状況

地域福祉配分金	6,544,551円（収）
地域歳末たすけあい募金配分金	4,530,706円（収）
地域福祉配分金の配分（自治会、民協等）	2,020,500円（支）
歳末見舞金として配分	824,964円（支）
その他歳末施設訪問のための事業費	39,000円（支）
各事業に共同募金配分金の繰出	8,190,793円（支）

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業（3,849,500円）

▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉の充実や社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行う。

（１）主な収支状況

県社協受託金	3,849,500円（収）
人件費	2,797,764円（支）
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	313,500円（支）
事務所使用料	187,479円（支）
非常通報装置の設置	61,476円（支）
その他事務費	489,281円（支）

（２）生活福祉資金相談状況

相談件数 246件

内訳 総合支援資金14件

（生活支援費14件、住宅入居費0件、一時生活再建費0件）

教育支援資金26件、福祉資金70件、不動産担保型生活資金7件、

緊急小口資金91件、臨時特例つなぎ資金15件、その他23件

（３）生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額（円）
1. 生活支援費	2	810,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	15	4,874,000
5. 福祉資金	12	2,712,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	10	900,000
8. 臨時特例つなぎ資金	12	990,000
合計	51	10,286,000

（４）生活福祉資金償還完了状況

資金種別	件数	償還金額（円）
1. 生活支援費	—	—
2. 住宅入居費	1	176,150
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	37	22,355,000
5. 福祉資金	9	1,974,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	5	407,000
8. 臨時特例つなぎ資金	8	609,000
9. 離職者支援資金	—	—
合計	60	25,521,150

▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、寄り添い、安心・安定した生活に向けた相談支援活動につなげていけるよう、一時的に食料品の提供を行う。

(1) 実施状況

利用者数 22名

支援食品数 838個（味付きブロック、缶詰、レトルトご飯、うどん、うどんスープ、レトルトカレー）

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業（2,235,180円）

(1) 主な収支状況

寄付金 1,276,695円（収）

歳末見舞金の一部として払出し 105,036円（支）

前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出 2,130,144円（支）

(2) 善意銀行運営状況

区分	事項	件数	金額（円）
収入の部	1. 一般寄付	66	651,112
	2. 指定寄付	40	625,583
	(1) 地域福祉のために	19	385,473
	(2) 障がい者のために	21	240,110
	3. 受取利息		26
	4. 前年度からの繰越金		2,235,180
	合計（A）		3,511,901
支出の部	1. 歳末見舞金の一部として払出		105,036
	2. 各事業に払出		2,130,144
	(1) 法人運営事業		150,000
	(2) 地域福祉活動支援事業		1,674,266
	(3) 心配ごと相談事業		232,056
	(4) 善意銀行預託金事業		73,822
	合計（B）		2,235,180
	差引合計（A）－（B）		1,276,721

※ 差引合計1,276,721円については、令和2年度へ繰越

善意銀行預託金事業

善意銀行預託金事業（103,822円）

▽ひとり親家族交流バスツアー

善意銀行への寄付金を活用し、ひとり親家庭の児童とその家族等の余暇の充実、交流等を目的に日帰りバスツアーを実施する。

実施日 7月28日

場所 関西国際空港

参加者 14組30名

▽「障がい者ふれあいデー」（橿原市主催）への参加・協力

実施日 8月20日

場所 シルクの杜

参加者 121名

(1) 主な収支状況

善意銀行運営事業から繰入	73,822円 (収)
参加者負担金	30,000円 (収)
ひとり親家族交流バスツアーにかかる事業費	103,822円 (支)

地域福祉基金運営事業

地域福祉基金運営事業 (65,203円)

(1) 主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息	65,203円 (収)
地域福祉活動支援事業に繰出	65,203円 (支)

(2) 地域福祉基金積立資産運営状況

(単位：円)

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	93,623,652	0	0	93,623,652
合計	93,623,652	0	0	93,623,652

障がい者等支援基金運営事業

障がい者等支援基金運営事業 (30,000,000円)

▽杉村皮膚泌尿器科医院院長の杉村克治すぎむらかつはる氏から、障がい者の社会参加の促進と支援、判断能力が不十分な人の権利擁護の推進などを目的に寄付のあった30,000,000円を財源として、障がい者等支援基金を設置

(1) 主な収支状況

指定寄付金	30,000,000円 (収)
障がい者等支援基金積立資産への積立	30,000,000円 (支)

(2) 障がい者等支援基金積立資産運営状況

(単位：円)

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	—	30,000,000	0	30,000,000
合計	—	30,000,000	0	30,000,000

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業 (876,170円)

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方の権利を擁護するとともに、福祉サービスの利用援助や日常生活の相談、金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活できるよう支援する。

(1) 主な収支状況

県社協助成金	393,570円 (収)
利用者負担金	482,600円 (収)
生活支援員人件費	503,944円 (支)
広報・啓発費用	40,057円 (支)
その他事務費・事業費	332,169円 (支)

(2) 実施状況

契約者数 36名 (令和2年3月31日現在)

支援時間数 655時間

契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規件数	0	0	2	0	1	2	0	1	1	0	0	1	8
終了件数	0	1	1	0	3	0	2	1	1	1	0	2	12

相談状況

	問合せ件数 (制度・事業について)	初回相談件数	相談援助件数	合計
4月	1	0	43	44
5月	2	1	44	47
6月	2	1	53	56
7月	1	2	61	64
8月	0	0	78	78
9月	1	3	71	75
10月	2	1	72	75
11月	1	3	57	61
12月	0	1	53	54
1月	1	1	65	67
2月	0	1	61	62
3月	2	0	81	83
合計	13	14	739	766

(3) 生活支援員養成講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
8月20日 (1回目)	生活支援員基礎研修 消費者被害と対処法について	9
8月27日 (2回目)	知的・精神障がい者への理解と支援について 高齢者・認知症高齢者への理解と支援について	7

(4) 生活支援員連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
2月18日	事例検討会	9

訪問介護事業

訪問介護事業（33,358,061円）

▽要介護者に対するホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

▽要支援者に対するホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）に対し、適切な第一号訪問事業を提供する。利用者が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

（１）主な収支状況

介護保険収入	20,133,059円（収）
総合事業収入	9,791,471円（収）
利用者負担金（要介護）	2,525,858円（収）
利用者負担金（要支援）	1,187,508円（収）
職員、嘱託職員、ヘルパー人件費	30,584,536円（支）
事務所使用料	374,958円（支）
訪問介護システム利用料	91,560円（支）
広報・啓発費用	120,173円（支）
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	1,436,834円（支）
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	750,000円（支）

（２）ヘルパー派遣（訪問介護）実施状況

	活動者数	利用者数	生活援助（時間）	身体生活（時間）	身体介護（時間）
4月	27	48	245	159.5	205.5
5月	28	48	238.5	156	208.5
6月	29	46	206	160	212
7月	27	46	184	166.5	196.5
8月	30	43	172.5	161.5	175.5
9月	31	49	193	160.5	179
10月	30	50	255.5	170	195
11月	29	47	260	160	161
12月	28	46	231	206	138
1月	29	46	230	192.5	135
2月	28	44	222	198.5	145
3月	29	43	234	222	133
合計	345	556	2,671.5	2,113	2,084

（３）ヘルパー派遣（第一号訪問）実施状況

	活動者数	利用者数	活動時間（時間）
4月	33	66	332
5月	34	67	342.5
6月	33	69	309
7月	35	69	353.5

8月	33	69	336.5
9月	33	69	326
10月	33	70	350.5
11月	33	70	316
12月	33	69	305
1月	33	68	280.5
2月	32	65	277
3月	32	58	287.5
合計	397	809	3,816

(4) ヘルパー定例会(研修)実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に実施する。

開催日	内 容	参加者数
4月23日	事例検討会	17
5月24日	笑いヨガを中心とした健康体操	15
6月20日	食中毒の知識と予防について	15
7月24日	プライバシー保護と法令遵守について	9
8月22日	認知症の理解について	31
9月24日	ベット上での全介助の方法について	27
10月23日	利用者に合った福祉用具の使い方について	27
11月25日	訪問介護の接遇・マナーについて	26
12月25日	介護技術の応用について	24
2月26日	障がい者の理解について	24

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業(12,976,249円)

▽障がい者(児)に対するホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助を行う。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を必要とする方の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う。

(1) 主な収支状況

居宅介護給付費収入	8,014,808円(収)
重度訪問介護給付費収入	1,022,859円(収)
同行援護給付費収入	3,786,340円(収)
利用者負担金	291,910円(収)
嘱託職員、ヘルパー人件費	12,008,395円(支)
事務所使用料	187,479円(支)

障害福祉システム利用料	130,800円〈支〉
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	249,575円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	400,000円〈支〉

(2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介護 (時間) ※介護を 伴わない	重度訪問介護 (時間)	同行援護 (時間) ※介護を 伴わない
4月	25	30	0	295	12	43	116.5
5月	26	32	0	308.5	6.5	51	119.5
6月	26	32	0	313.5	11.5	36	94.5
7月	27	32	5	330.5	11.5	47	113
8月	26	32	5	320.5	10	36	99.5
9月	27	34	3	316	5	42	120
10月	27	34	6	335.5	12.5	46	139
11月	27	34	5	317	3.5	42	136.5
12月	27	34	1	293	18	43	120
1月	26	34	1	305.5	9	45	104.5
2月	25	32	2	291	10.5	39	86.5
3月	26	33	5	312	7.5	41	112
合計	315	393	33	3,738	117.5	511	1,361.5

移動支援事業

移動支援事業（1,682,496円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

(1) 主な収支状況

市受託金	1,783,254円〈収〉
利用者負担金	40,866円〈収〉
ヘルパー人件費	1,104,246円〈支〉
その他事業費・事務費	328,250円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	250,000円〈支〉

(2) ヘルパー派遣実施状況

	活動者数	利用者数	移動支援 単独保障型 (時間)	移動支援 単独補助型 (時間)	移動支援 単独介護型 (時間)
4月	7	9	44.5	8	22
5月	8	9	58	0	24
6月	7	10	36.5	0	22.5
7月	6	8	39	0	21
8月	6	8	35	0	21
9月	8	10	53.5	0	20.5
10月	7	10	43.5	0	24

11月	8	9	61	0	22
12月	7	9	70	0	20.5
1月	7	9	59.5	0	20
2月	7	9	59.5	0	18
3月	8	9	57	0	17
合計	86	109	617	8	252.5

包括的支援事業

包括的支援事業（112,949,816円）

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療等さまざまな悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

（1）主な収支状況

市受託金	107,481,609円〈収〉
介護予防支援事業から繰入	5,468,207円〈収〉
人件費	59,963,580円〈支〉
かしはら街の介護相談室委託費	46,800,000円〈支〉
包括的・継続的ケアマネジメント事業費	69,410円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	793,629円〈支〉
パソコン・システムバージョンアップ費用	1,766,800円〈支〉
広報・啓発費用	240,345円〈支〉
事務所使用料	1,499,831円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事務費・事業費	1,816,221円〈支〉

（2）総合相談・支援事業

▽高齢者やその家族等から様々な相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるように支援する。

相談状況

区 分	件数
介護保険	1,666
認知症	122
病気	138
医療機関	173
家族	118
生活資金	18
介護予防	23
日常生活	1,467
ケアマネ支援	112
その他	164
合 計	4,001

(3) 権利擁護事業

▽高齢者の虐待防止、早期発見、早期対応などを行うとともに、成年後見制度（財産管理や重要な契約などの支援）等の利用促進を支援する。

相談状況

	虐待	権利擁護	合計
相談件数	127	39	166
実人数	22	23	45

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

▽利用者がどのような状況にあっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう関係機関と連携し、継続的に支援できるよう努める。また、地域のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談に応じ、より質の高いケアマネジメントができるようケアマネジャー同士のネットワークづくりを支援する。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にケアマネジャー支援研修会を実施する。

ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
5月14日	内容 介護予防サービス・支援計画書の作成について 講師 地域包括支援センター職員 ※経験年数3年未満の方対象	18
6月14日	内容 ひきこもり支援の実践～8050問題を題材に～ 講師 奈良市社会福祉協議会 <small>ごとうぶんぞう</small> 後藤文造 氏	53
9月13日	内容 本人・家族の関係性理解のためのジェノグラム入門 講師 京都大和の家 施設長 <small>はやかしかずお</small> 早樫一男 氏	69
1月21日	内容 医療連携の苦手を克服する3つのコツ 講師 明日香村国民健康保険診療所 センター長兼診療所管理者 <small>たけだいちろう</small> 武田以知郎 氏	71
2月25日	内容 精神疾患の理解・支援のポイント 講師 訪問看護ステーションなつめ <small>あらかりょうへい</small> 所長 荒木亮平 氏	59
	合 計	270

(5) かしはら街の介護相談室との連携

▽社会福祉法人や医療法人の協力を得て設置しているかしはら街の介護相談室との連携を図り、地域における高齢者の総合相談窓口として、より一層の充実を目指す。

かしはら街の介護相談室（小学校区）

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
耳成	榎原の郷	白榎南	桃寿園
耳成南	ケアステージみみなし	白榎北	桃寿園
晩成	あすならホーム畝傍	今井	ぼれぼれケアセンター白榎
鴨公	大和三山	真菅	ぼれぼれケアセンター白榎
香久山	香久山インパレス	真菅北	榎原の郷
畝傍東	榎原園	耳成西	榎原の郷
畝傍南	榎原園	金橋	かなはし苑
畝傍北	あすならホーム畝傍	新沢	西井クリニック

かしはら街の介護相談室（中学校区）

中学校区	事業者名	中学校区	事業者名
八木（北）	ケアステージみみなし	大成	かなはし苑
八木（南）	香久山インパレス	榎原	榎原の郷
畝傍	平成まほろば病院	光陽	桃寿園
白櫃	榎原園		

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者が連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を目的に、中学校区レベルで開催される「在宅医療・介護連携地域ケア会議」に参加する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
在宅医療・介護連携地域ケア会議	14

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種において課題及び背景・原因の分析をより深め、要支援者等の自立支援の検討のため、中学校区レベルで開催される「自立支援地域ケア会議」に参加する。

▽ケアマネジャーや地域住民等から報告される個別の支援困難事案の解決に向けた検討や、地域の支援体制の構築を目的に、「個別レベル地域ケア会議」を開催（参加）する。

個別レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
自立支援地域ケア会議	28
個別レベル地域ケア会議	18

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ランチ連絡会を開催する。

ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
4月16日	平成30年度（下半期）かしはら街の介護相談室事業評価の総括について グループワーク「各かしはら街の介護相談室における令和元年度の取り組みについて」	29
5月21日	第1回医療介護連携地域ケア会議について ※中学校区かしはら街の介護相談室対象	12
6月18日	グループワーク「生活支援地域ケア会議について～住民主体を意識づける方法～」	27
7月16日	グループトーク「自立支援地域ケア会議について」 「医療介護連携地域ケア会議について」 「かしはら街の介護相談室の周知・啓発活動について」 ※中学校区かしはら街の介護相談室対象	13
8月20日	第1回生活支援地域ケア会議開催報告について	27
9月17日	自立支援地域ケア会議について かしはら街の介護相談室の取組状況について（榎原の郷）	25

10月15日	第2回生活支援地域ケア会議開催に向けた進捗状況の報告について	26
11月19日	かしはら街の介護相談室の取組状況について（ケアステージみみなし）	29
12月17日	認知症地域支援推進員の活動内容について 第2回生活支援地域ケア会議開催報告について	30
1月31日	かしはら街の介護相談室活動報告会	27
2月20日	かしはら街の介護相談室活動報告会	27
合 計		272

▽地域住民に地域包括ケアシステムや高齢者虐待防止への理解を深めてもらうため、かしはら街の介護相談室と連携し、お役立ちいきいき講座を開催する。

お役立ちいきいき講座実施状況

開催日	テーマ	対象者	参加者数
4月4日	地域包括支援センターの周知・啓発	畷傍北ふれあいサロン	51
5月14日	高齢者虐待防止の周知・啓発	四条敬愛会	9
6月20日	高齢者虐待防止の周知・啓発	畷傍北ふれあいサロン	47
7月23日	地域包括支援センターの周知・啓発	菖蒲町寿楽会	30
7月26日	地域包括支援センターの周知・啓発	耳成寿楽会	19
10月22日	地域包括支援センターの周知・啓発	真菅北ひまわりサロン	35
11月6日	地域包括支援センターの周知・啓発	げんきイキイキ教室（白櫃）	33
合 計			224

認知症総合支援事業（6,175,281円）

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医と連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

（1）主な収支状況

市受託金	6,175,281円〈収〉
人件費	4,989,951円〈支〉
認知症講座開催費用	353,821円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	56,688円〈支〉
パソコン・システムバージョンアップ費用	126,200円〈支〉
広報・啓発費用	80,115円〈支〉
事務所使用料	187,479円〈支〉
弁護士法律相談費用	103,000円〈支〉
その他認知症関係事業費	278,027円〈支〉

(2) 認知症地域支援推進員の相談状況

相談件数 643 件 (実人数 93 名)

(3) オレンジカフェ実施状況

▽認知症の方や家族等が集い、交流や情報交換ができる場として「オレンジカフェ (認知症カフェ)」を開催する。

日時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健福祉センター南館3階 講座室1

オレンジカフェ実施状況

名 称	回数	延参加者数
オレンジカフェ (認知症カフェ)	11	189

▽認知症カフェを開催する関係機関が集い、情報交換ができる場として開催される認知症カフェ連絡会に参加する (1回)。

(4) 認知症講座実施状況

▽認知症に対する理解を深めるとともに認知症の早期発見や早期対応につなげるため、認知症講座を開催する。

認知症講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
9月7日	講義 不安の中へ ～手探りの新学期 認知症の私が伝えたいこと～ 講師 若年性アルツハイマー型認知症の当事者 公立中学校教員 (休職中) ^{よこたひろゆき} 横田宏之 氏 場所 かしはら万葉ホール5階 レセプションホール	330

生活支援体制整備事業 (993,000円)

▽高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進と、提供体制の構築に向け、生活支援コーディネーターを配置する。

▽社会資源の把握のため、かしはら街の介護相談室と連携して、高齢者にとって日常生活に役立つ次の情報を調査し、冊子として作成・更新する。

- ・日常生活品配達サービス
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗
- ・買い物支援サービス協力店

▽かしはら街の介護相談室の協力を得て、各町の地域特性などの情報を収集し、現状や課題を分析するための「町ごとのアセスメントシート」を作成・更新する。

▽かしはら街の介護相談室の生活支援コーディネーターと連携を図り、小学校区の現状や課題を地域住民と共有するとともに、解決に向けた検討のため、見守り・居場所づくり・つながりづくり等をテーマに、小学校区レベルで開催される「生活支援地域ケア会議」に参加する。

日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	32	963

(1) 主な収支状況

市受託金	993,000円〈収〉
人件費	862,725円〈支〉
広報・啓発費用	80,115円〈支〉
生活支援サービスの体制づくりのための事業費	50,160円〈支〉

介護予防支援事業

介護予防支援事業(28,607,991円)

▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者が、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう、介護予防ケアマネジメント計画を作成するとともに、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。

▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス計画を作成するとともに、その計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。また、公正中立なケアマネジメントの確保や平時から医療機関との連携に努める。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	13,388,998円〈収〉
総合事業収入	15,197,806円〈収〉
人件費	17,470,708円〈支〉
介護予防プラン等作成委託費	69,100円〈支〉
介護予防支援システム保守料等	396,815円〈支〉
パソコン・システムバージョンアップ費用	883,400円〈支〉
事務所使用料	749,915円〈支〉
弁護士法律相談費用	103,000円〈支〉
広報・啓発費用	240,345円〈支〉
固定資産取得費(シュレッター 他4件)	1,114,322円〈支〉
その他事業所運営にかかる事務費・事業費	2,112,179円〈支〉
包括的支援事業に操出	5,468,207円〈支〉

(2) 介護予防ケアマネジメントAプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	14	248	262	6	325	331	593
5月	12	253	265	12	326	338	603
6月	15	253	268	10	335	345	613
7月	17	255	272	5	330	335	607
8月	15	252	267	6	339	345	612
9月	19	249	268	6	347	353	621
10月	21	251	272	11	346	357	629

11月	14	255	269	16	344	360	629
12月	3	250	253	18	358	376	629
1月	2	228	230	16	390	406	636
2月	1	150	151	16	469	485	636
3月	0	96	96	17	505	522	618
合計	133	2,740	2,873	139	4,414	4,553	7,426

介護予防ケアマネジメントBプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	1	37	38	0	1	1	39
5月	1	40	41	0	1	1	42
6月	2	38	40	0	1	1	41
7月	1	39	40	0	1	1	41
8月	1	39	40	0	1	1	41
9月	2	41	43	0	1	1	44
10月	0	43	43	0	1	1	44
11月	0	43	43	0	1	1	44
12月	0	41	41	1	1	2	43
1月	0	36	36	0	3	3	39
2月	0	36	36	1	3	4	40
3月	0	33	33	2	4	6	39
合計	8	466	474	4	19	23	497

(3) 介護予防ケアプラン作成実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	10	199	209	15	579	594	803
5月	9	207	216	8	577	585	801
6月	13	199	212	12	581	593	805
7月	12	216	228	11	582	593	821
8月	23	221	244	10	573	583	827
9月	11	237	248	10	569	579	827
10月	9	245	254	14	570	584	838
11月	8	238	246	20	583	603	849
12月	4	237	241	25	577	602	843
1月	1	210	211	22	618	640	851
2月	1	162	163	26	651	677	840
3月	2	100	102	21	706	727	829
合計	103	2,471	2,574	194	7,166	7,360	9,934

委託契約事業所件数 79件 (令和2年3月31日現在)

(注釈)

サービス区分名

事業名 (決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出